学校通信

# 大池中学校だより

四日市市立大池中学校　No.17
令和３年12月23日　発行：校長

## 生徒のみなさんへ　コロナ禍だからこそ…

オンライン授業から始まった２学期がいよいよ終わります。充実した学校生活が送れたでしょうか。９月下旬から通常の学校生活が再開されても、体育祭が学年別に縮小されたり、中体連新人大会が中止になったりと行事については残念でした。それでも体育祭や文化祭・合唱コンクールに各学級・学年でしっかりした取り組みがあり、当日、盛り上がった様子があって、皆さんの強さとたくましさを感じました。

さて、コロナ禍での生活となってもうすぐ２年が経とうとしています。まさか、こんなに長く続くとは思いませんでした。しかもまだ終わりが見えない…。こんな不自由で我慢しなければならない生活が続くと、不安がつのり、心が荒(すさ)んでいくようにも思います。

そんな中、最近、詩人の茨木(いばらき)のり子さんの有名な詩「自分の感受性くらい」を読み返す機会がありました。

自分の感受性(かんじゅせい)くらい
ぱさぱさに乾(かわ)いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠(おこた)っておいて

気難(きむずか)しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失(うしな)ったのはどちらなのか

苛立(いらだ)つのを
近親(きんしん)のせいにするな
なにもかも下手(へた)だったのはわたくし

初心(しょしん)消えかかるのを
暮(く)らしのせいにはするな
そもそもが　ひよわな志(こころざし)にすぎなかった

駄目(だめ)なことの一切(いっさい)を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳(そんげん)の放棄(ほうき)

自分の感受性(かんじゅせい)ぐらい
自分で守れ
ばかものよ

コロナ禍でいろんなことを我慢する生活の中でも、自分の心は自分自身でしっかり守れとエールを贈ってもらったように思いました。

こんな時期だからこそ、“当たり前”の生活に感謝すべきことに気づき、他人からの心温まる思いやりや優しさに出会い、そして、自らたくましく生きようとする力が身に付くのかもしれません。

新しい１年が始まります。自分にとって『どんな１年』にしたいのか、“一年の計は元旦にあり”とも言います。新たな決意で新年をスタートさせてください。

【裏面もご覧ください】

環境教育（１年生）

# 国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」を守れ！

１２月６日

本校では毎年１年生が、環境・地域学習の一環として「御池沼沢」について学習します。

## 御池沼沢とは

大池中学校の南東部にある沼地のことです。（東部と西部に分かれています。）

ここが国指定の天然記念物に指定（昭和 27 年）されたのは、北限の植物（ミクリガヤ）と南限の植物（ヤチヤナギ）が同居していること、食虫植物が豊富に生育していること、その他多くの珍しい植物が生育していることからです。

なぜこのようなことになったのか。それは御池沼沢が東海地方という暖かい場所にあるにもかかわらず、沼沢の西端から冷たい水が湧き出しているからです。つまり、冷たい水が湧き出しているところは、水温が低いので寒冷地の植物でも生育できます。その湧き水が東の方へ緩やかに巡っていくうちに暖められ、東側では温暖に適した植物が育つのです。この理由で寒い地方と暖かい地方の植物が一つの沼沢地に自生しています。

## ところが

御池沼沢は現在、東と西に分かれていますが、もともとは一つの大きな池でした。江戸時代の絵図には一つの池として描かれています。ところが、明治時代に農地にするための開拓や、昭和に入ると国の土地改良事業として整備したり、東名阪自動車道が開通したりするなど、大きな環境変化が起こりました。そのため水脈が圧迫され、沼地の陸化が進んでいます。現在はポンプで地下水を供給していますが、沼地としての環境が悪化しつつあり、その環境の維持が懸念されています。

## そこで

御池沼沢の草刈りを行います。ここに生育する植物の多くは、他の植物が好まない、土地に栄養が少ない場所で生育します。そのため、除草することで、枯れた植物が湿地内に堆積しないようにし、栄養が豊富な土地にならないようにするためです。１２月５日（日）にボランティアさんによる御池沼沢内（東部）の草刈りが行われ、１２月６日（月）には１年生全員で刈り取った草を集めました。生徒たちには地域の環境について考えを深めてもらえればと思います。

**【お知らせ】冬季休業中の新型コロナウイルスに関する連絡**

生徒やご家族が検査を受けることになった場合、ご連絡ください。

| 平日<br>12/27　1/5,6,7 | 学校閉校日<br>12/28　1/4 | 土日祝日<br>12/25,26　1/8,9,10 |
|---|---|---|
| 大池中学校<br>326-0005<br>325-2090 | 学校教育課<br>354-8252 | 教育委員会コロナ専用電話<br>090-7916-0861<br>080-2642-0967 |

※12/29～1/3 は、学校での感染拡大の恐れがないことから対応電話は休止です。